

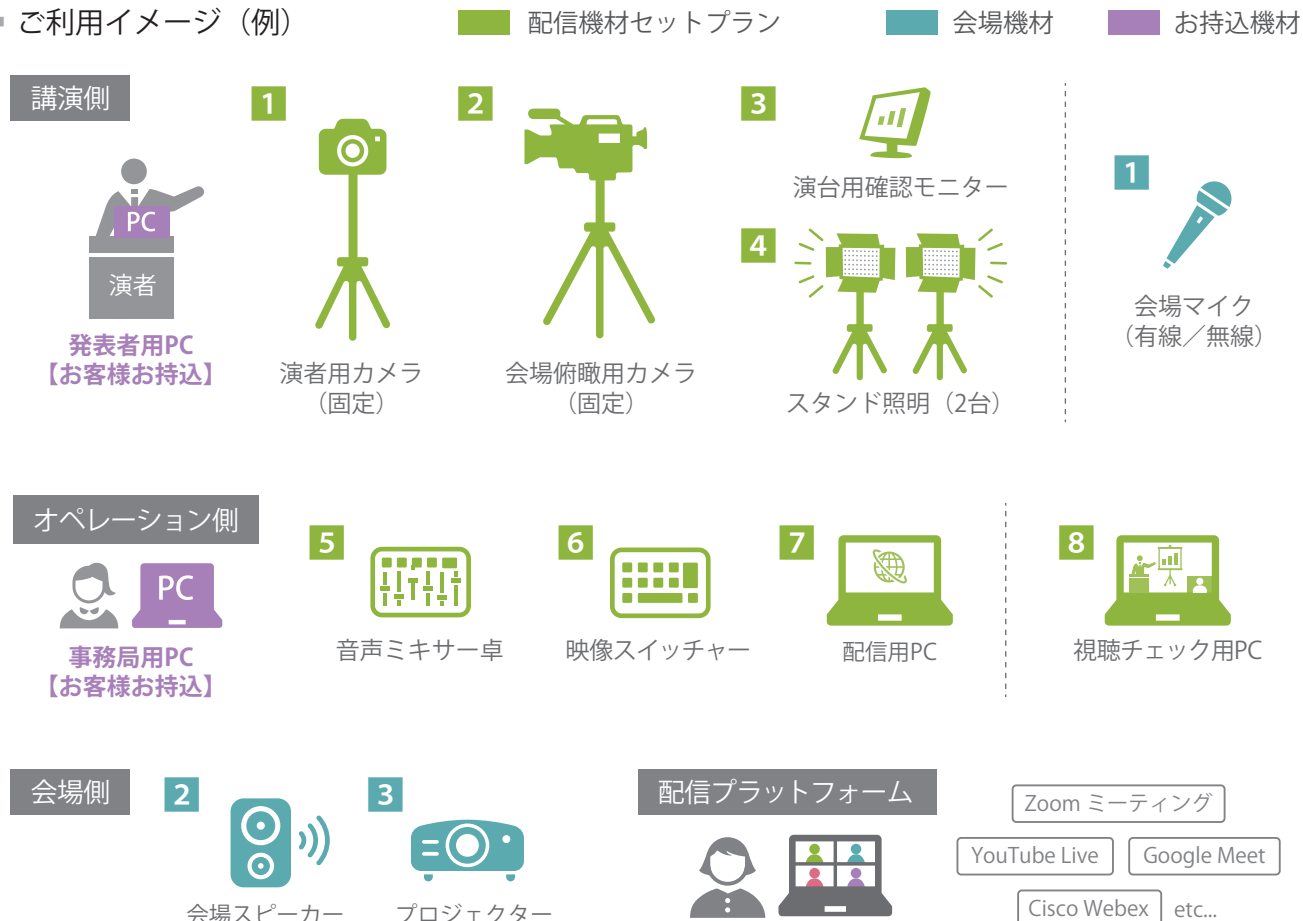
配信機材セットプラン

≫ 一式 ¥70,000 (税別)

- ✓ 機材設営・設定完了の状態でお渡し
※ご来館時に操作のご説明を致します
- ✓ お持込み機材は発表者用PC、事務局用PCのみでOK
※レンタルも可能です
- ✓ 映像スイッチャーを使用し、画面の切替や画面構成を使用した配信が可能

オンライン配信に必要な機材をセットにした、コストパフォーマンスの高いプランをご用意致しました。
操作性の良い・ご利用頂きやすい機材ですので、主催者様ご自身でのオンライン配信にご利用頂けます！

ご利用イメージ (例)



配信機材セット内容 ¥70,000

- 1 演者用カメラ (固定) 【SONY ZV-1】
- 2 会場俯瞰用カメラ (固定) 【SONY PXW-Z90】
- 3 演台用確認モニター
- 4 スタンド照明 (2台)
- 5 音声ミキサー卓
- 6 映像スイッチャー
- 7 配信用 PC
- 8 視聴チェック用 PC

会場機材 ※別途有料

- 1 会場マイク
- 2 会場スピーカー
- 3 プロジェクター

お持込機材

- 1 発表者用PC
- 2 事務局用PC

オペレーター オプション対応 ¥50,000 /名・1日

催事内容によって必要な人数が異なります。
会場スタッフにご相談ください。

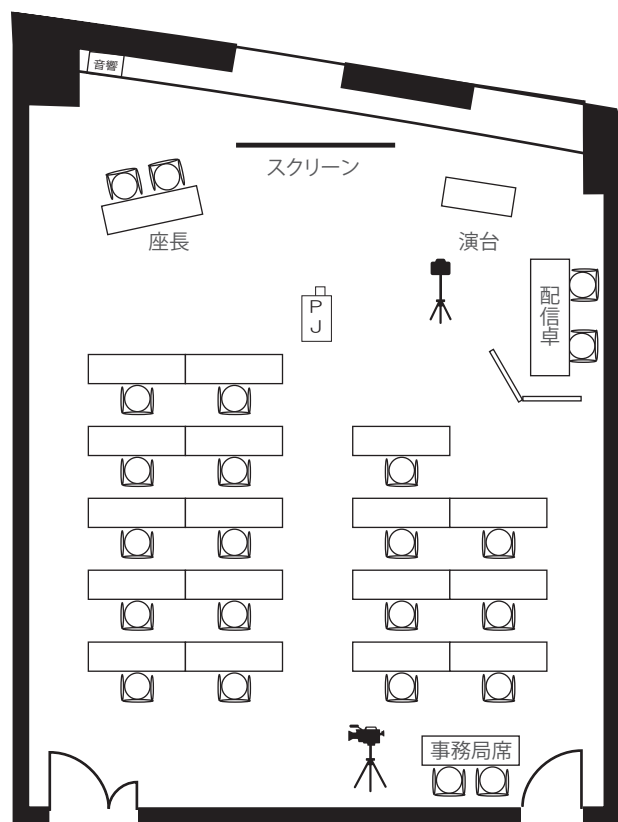
※別途ご利用の会場利用料が発生いたします。

下見・配信機材体験 (タッチ&トライ)

配信機材は会場在庫品のため、いつでも機材の確認・お下見が可能です。(在庫に限りがございます。)

お下見時、会場はハイブリッドセミナー形式にセッティングされておりますので、お貸出しする実際の機材を本番に近い環境でお試しいただけます。

レイアウトイメージ



会場	広さ	席数
Room 109	105 m ²	17 席

※ソーシャルディスタンスを考慮しております。

✓ ご内覧時に配信体験していただいてもOK

※実際に機材に触れてイベントのイメージが掴みやすくなります

✓ 手ぶらでOK

※プラットフォームはZoomにてご用意しておりますが、
他ご希望の場合はお客様にてご準備をお願いします

✓ スタッフがサポートいたしますので、 初めてでも安心してご利用いただけます

※お下見希望の場合は事前にご内覧のご予約をお願いいたします。
※ご予約状況によりご覧頂ける会場が変更になる場合がございます。
※在庫状況によりご希望日を承れない場合がございます。
※ご内覧は1時間以内でお願いいたします。
※本番時のプラットフォームはお客様にてご準備をお願いします。
(会場のZoomアカウントは基本的にご利用できません。)

≫ 配信事例は、こちらをご覧ください。

https://www.tokyo-kfc.co.jp/casestudy_scene/webinar/

よくある質問

Q&A

Q1. 映像機材の知識がなくても利用は可能ですか？

A1. 問題ございません。セッティング済みの状態でお客様をお迎えいたします。
ご来館時に操作方法を丁寧にお伝えいたします。配信プラットフォームにログイン後すぐに配信を始められます。
本番中の操作などにご不安がありましたら、オプションにてオペレーターの手配を承ります。

Q2. セットプラン以外に必要となるものはありますか？

A2. 当日は発表者用のPCと、Zoom等をご利用の場合は事務局用PC1台をお持ち込み下さい。(別途レンタルにてPCのご用意も可能です。)
ご利用になれるYouTubeやZoomなどのアカウントを事前に取得して下さい。

Q3. 単品でのレンタルは可能ですか？

A3. 申し訳ございません。
セットプランになるため、単品でのお貸出しはできません。
単品でのレンタルをご希望の場合、外注レンタルにてご用意可能でございます。お気軽にご相談ください。
例) カメラ 1台 → 13,200円(税抜)

Q4. どのような配信画面を構成できますか？

A4. 2画面やピクチャーインピクチャー、テロップ表示など複数の構成が可能です。
事前にご希望の構成パターンを会場スタッフにご相談下さい。



ピクチャーインピクチャー



2画面



背景+ロゴ(セミナー名等)

Q5. 配信関係の操作を全てお願いできますか？

A5. オプションのオペレーターを手配した場合は、配信機材の操作はオペレーターが対応いたします。
Zoom等の場合は、入退室管理・チャットの対応等の操作は事務局用PCにて主催者様がご対応下さい。

※ご利用頂く会場の会場費、機材費(マイク・プロジェクター等)が別途発生いたします。
※こちらのセットプランは数に限りがございます。
※セットプランの機材以外にも、ご希望があれば別途手配を承ります。
※オペレーターのみの手配はできません。

WEB会議の基礎知識 ≧ なにができるの？ どのような仕組み？

▶ WEB会議 5つのポイント

- 1**
WEB会議を一言で説明すると…

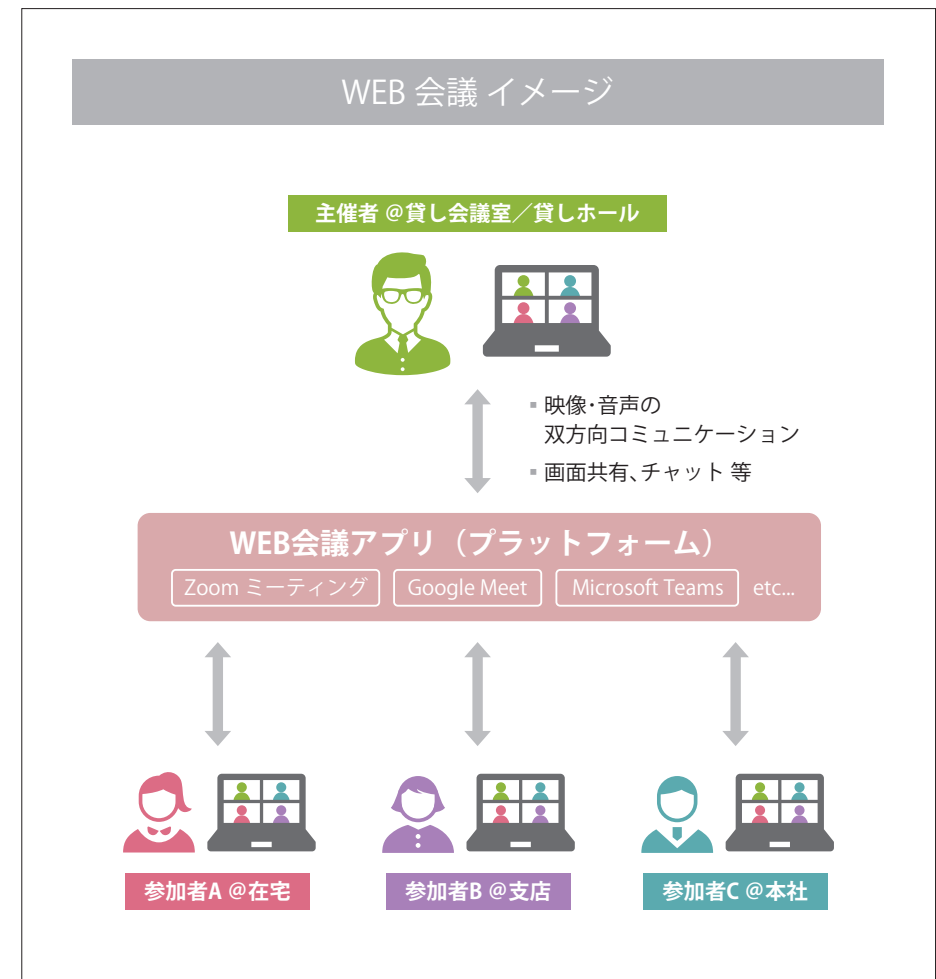
ZoomミーティングやTeamsなどのWEB会議アプリを使用して、遠隔地の参加者とパソコンの画面越しに会議をすることです。
- 2**
WEB会議アプリとは？

ZoomやTeams、Google Meet等が一般的です。有料・無料のものがあり、パソコンやスマートフォンにインストールすることで簡単に使用できます。
- 3**
どんなことができるの？

WEB会議アプリの主な機能として、参加者全員の映像を一覧タイル表示したり、自分のパソコンの画面を共有表示させたり、参加者全員でチャットができたりします。マイクやカメラのON/OFFも可能です。
- 4**
必要な機材は？

参加者全員が、内蔵カメラ・内蔵マイク付のノートPCやスマートフォンを用意してください。安定したインターネット環境も必要です。一つの部屋に複数人が集まる場合は、集音マイクや広角カメラなども便利です。
- 5**
参加者への周知は、どうやるの？

WEB会議アプリで会議日程を設定すると、参加者通知用のURLが発行されます。それを参加者にメールなどで送信すれば、参加者は簡単にWEB会議に参加可能です。



WEBセミナーの基礎知識 ≧ 機能は？ WEB会議との違いは？

▶ WEBセミナー 5つのポイント

1
WEBセミナーを一言で説明すると…

ZoomウェビナーやYouTube LiveなどのWEBセミナーアプリを使用して、遠隔地の参加者にパソコンの画面越しにセミナーをすることです。
(ウェビナーとは、ウェブ+セミナーを繋げた造語)

2
WEBセミナーアプリとは？

ZoomウェビナーやYouTube Live等が一般的です。有料・無料のものがあり、パソコンやスマートフォンにインストールすることで簡単に使用できます。セミナー利用の場合は有料アカウントが必要になる場合が多いです。事前の登録や設定が必要です。

3
どんなことができるの？

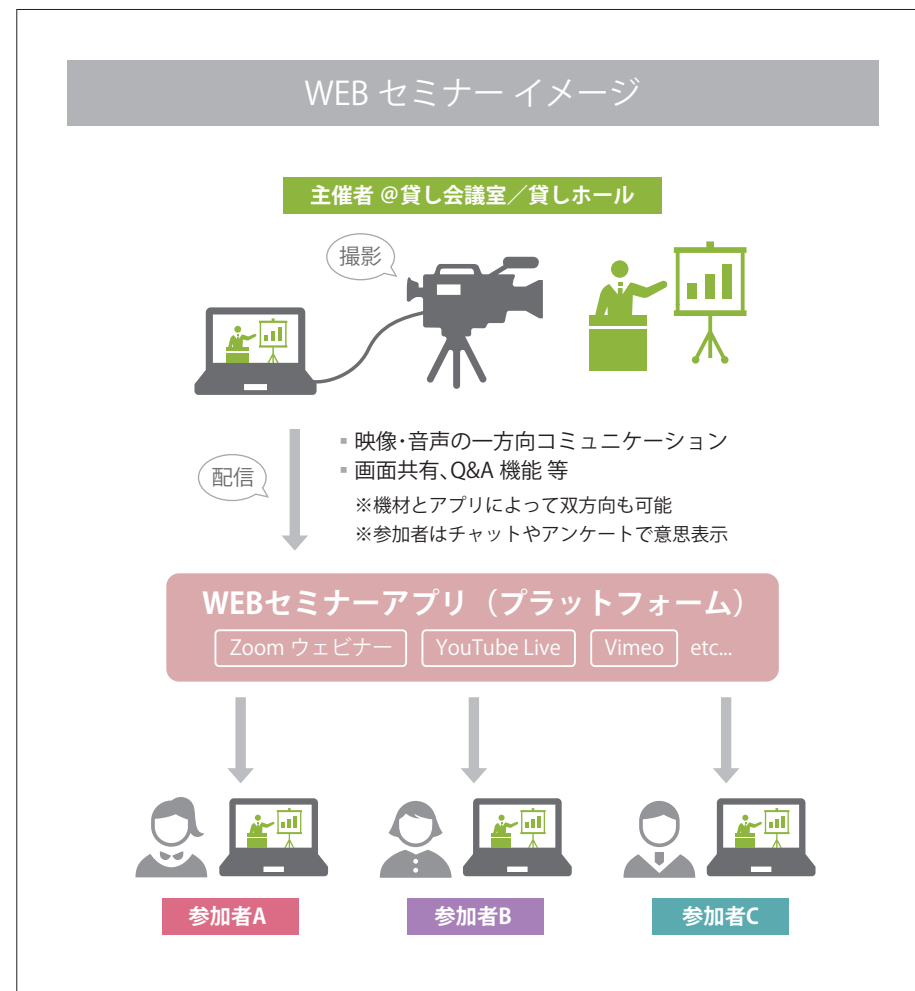
WEBセミナーアプリの主な機能としては、数十人～数百人以上の参加者にセミナーを配信することができます。アプリによってはチャット機能、Q&A機能、アンケート機能、バーチャル挙手機能、パネリスト昇格機能、アーカイブ機能等、多岐にわたります。

4
必要な機材は？

主催者は、内蔵カメラ&マイク付のノートPCがあればセミナーが可能です。参加者もノートPCやスマートフォンから気軽に参加できます。主催者も参加者も、安定したインターネット環境は必須となります。また、別途カメラやスイッチャーを用意して、テレビ番組のようにカメラワークとスライドを切り替えたりと、高度な応用も可能です。

5
参加者への周知はどうやるの？

WEBセミナーアプリで配信日程を設定すると、参加者通知用のURLが発行されます。それを参加者にメールなどで送信すれば、参加者は簡単にWEBセミナーに参加可能です。有料セミナーとする場合は、別途イベント運営サービス等と連携して申込管理・集金管理などを行います。



ハイブリッドセミナー（リアル×WEB）の基礎知識

▶ ハイブリッドセミナー 3つのポイント

1 ハイブリッド セミナー とは？

リアル会場＝貸し会議室や貸しホール等に集客をし、通常のセミナーを実施しながら、その様子をZoomウェビナーやYouTube LiveなどのWEBセミナーアプリを使用して、遠隔地の参加者にパソコンの画面越しに配信するセミナーのことです。

例えば、リアル会場には50人集客し、配信先のWEB集客は300人、等のように定員を設定します。

2 ハイブリッド セミナーの 注意点は？

【映像と音声について】

リアルの会場内の映像・音声＝生の五感で感じる視覚・聴覚情報と、配信先のPC画面越しに見る視覚・聴覚情報は異なります。例えば、直接見ると照明が暗くても視認可能ですが、カメラ越しの映像はある程度の明るさが必要です。音声はパソコン越しであれば音量調整が参加者の手で可能ですが、リアルの現場では小さすぎて聞こえない、等が発生します。両方に配慮した環境調整が求められます。

【イベントの進行について】

配信先のWEB参加者はアクセス集中による遅延が発生したりと、進行もリアルと配信の両方の管理が必要となります。

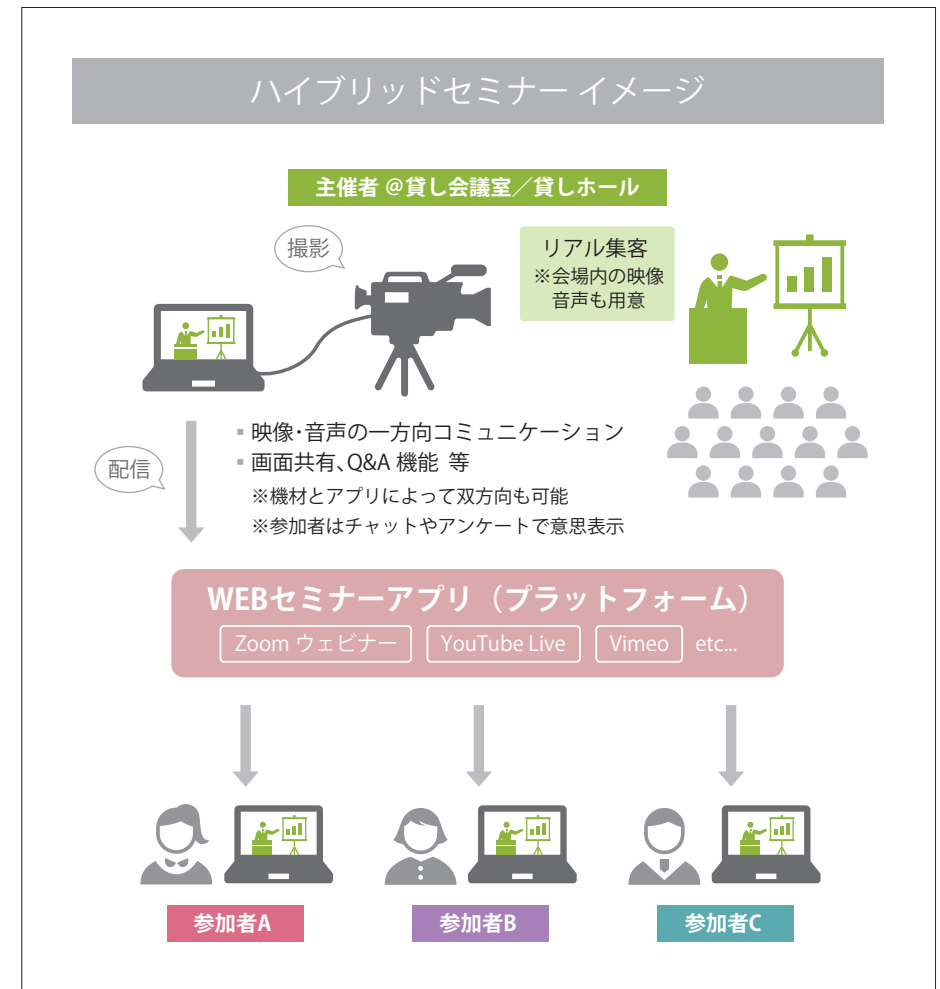
3 必要な 機材は？

【リアル会場用の機材】

通常のWEBセミナー機材の他に、会場内のリアル参加者に対して映像や音声を届けるための、プロジェクターやスクリーン、マイクなどの映像音響機材が必要です。

【配信用の機材】

リアル会場の映像音声を調整して配信先に送るためのミキサーやスイッチャーも必要となり、リアルと配信のダブルオペレーターが必要になることも多いです。イベントの難易度も高まりますので、主催者・会場・配信業者の3者での綿密な打合せが重要です。



WEB会議・WEBセミナー ≫ 会場選びのポイントは？

POINT

01 安定した高速インターネット回線

配信先の参加者に安定した映像と音声を届けるためには、安定した高速インターネット回線が必須となります。

▶ Check List

- 光回線自体が高速なものかどうか
- 光回線が専用回線かどうか（他の部屋と共有回線は遅延懸念あり）
- ルーターや分配機等の通信設備が高速対応かどうか
- Wi-Fi を飛ばすアクセスポイントが高速・多台数接続対応かどうか

POINT

02 カメラや映像スイッチャー等の配信機材

配信にはカメラやマイク、映像スイッチャー、音声ミキサー、配信用パソコンなど、様々な機材が必要になります。行いたいイベントの内容に合わせて、適切な機材選定が重要です。

▶ Check List

- 配信用の機材選定を適切に提案してくれる会場かどうか
- リアル集客を伴うなら、会場内のプロジェクター投影や音響設備が適切かどうか、また配信用機材との接続が適切かどうか

POINT

03 主催者の要望に応え、さらなるご提案ができる会場コーディネーターの経験値

WEB 会議・WEB セミナーはコロナ禍において急激に需要が増加しているイベントのため、会場側のサービス提供体制が不十分な施設も散見されます。会場コーディネーターの経験値が重要です。

▶ Check List

- 会場に WEB 会議や WEB セミナー対応の実績が十分にあるかどうか
- 会場コーディネーターがオンラインイベントに精通しているか
- 主催者に分かる言葉で親身に寄り添った提案をしてくれるか

POINT

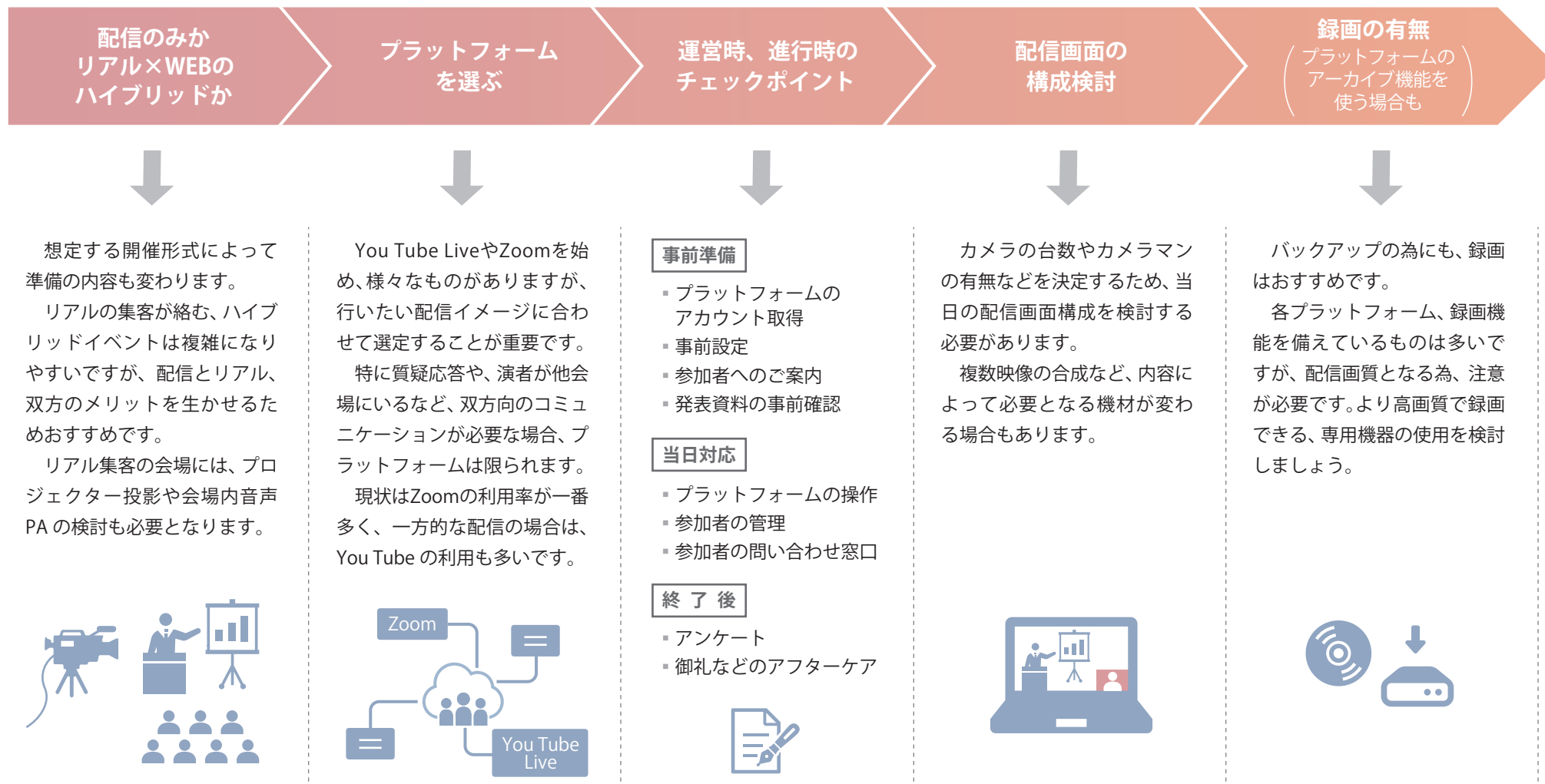
04 会場の広さとデザイン、環境音にも配慮

配信先の参加者に良質な映像と音声を届けるためには、リアルイベントでは意識しない部分にも配慮が必要です。具体例は以下の通りです。

▶ Check List

- 配信機材は思った以上にスペースを取ります
ソーシャルディスタンスと合わせて適切な広さを確保しましょう
- 登壇者の背景にデザインがある会場がカメラ映えてお勧めです
- 会場外の騒音や空調音等も配信の邪魔になるので注意が必要です

WEB会議・WEBセミナー ≫ 企画時のポイントは？



おわりに

お問合せ・ご相談をお待ちしております。

KFC Hall & Rooms

- CONTACT -

03-5610-5801

hall-info@tokyo-kfc.co.jp